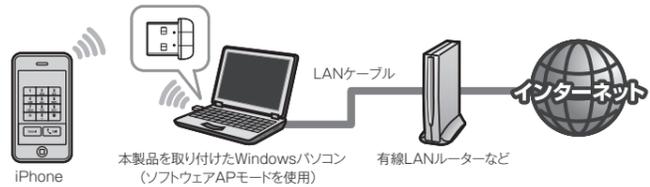


本製品をアクセスポイントとして使用する

本製品は、ソフトウェアAPモードを搭載しています。このモードは、本製品をソフトウェア的に無線LAN親機（無線LAN AP）として使用するモードです。ゲーム機や iPhoneなどを無線LANで接続するだけでなく、無線LANルーターなどの無線LAN親機を導入しなくても、簡単にインターネットに接続できます。

例えば、本製品とiPhoneを無線LAN接続することで、パソコン経由でインターネットを利用できます。



必ずセットアップガイドWindows編STEP2をご覧になりドライバーをインストールしてから設定をしてください。

STEP 1 アクセスポイントモードに切り替える

1 ユーティリティを起動します。

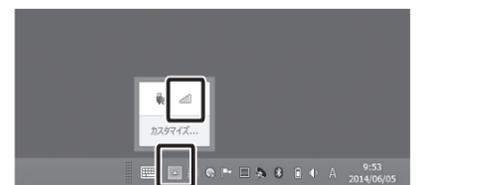
タスクバーのアイコンを選択します。

■Windows 8/8.1の例

スタート画面から、デスクトップのタイルを選択します。



デスクトップのタスクバーのアイコンを選択します。



クリック 2へ進みます。

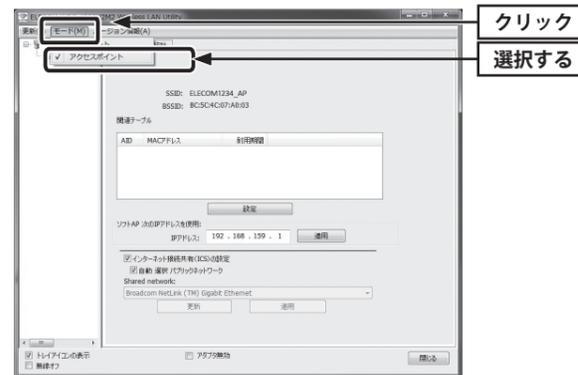
■Windows XPの例

デスクトップのタスクバーのアイコンを選択します。



クリック 2へ進みます。

2 [モード]をクリックし、[アクセスポイント]を選択します。



ステータス画面が表示されます。



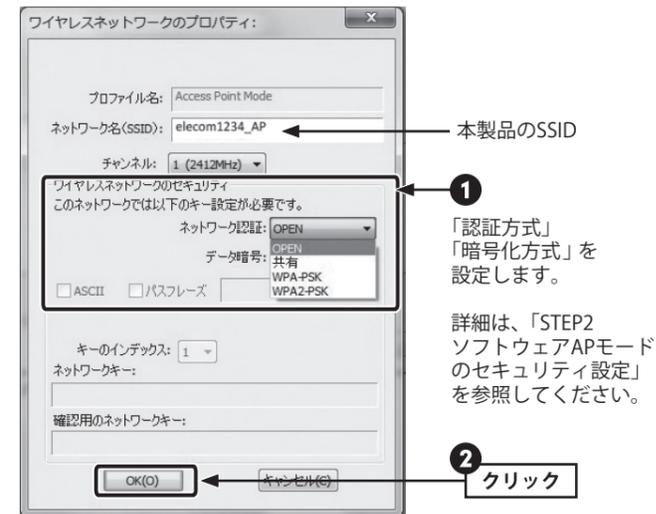
3 アクセスポイントモードに切り替わると以下の画面が表示されます。[設定]をクリックし、スマートフォンなどの無線LAN端末から本製品に接続できるように設定します。



「インターネット接続共有 (ICS) の設定」にチェックが付いていると自動的に5の設定が開始されます。

4 [ワイヤレスネットワークのプロパティ]でセキュリティ機能の設定をします。

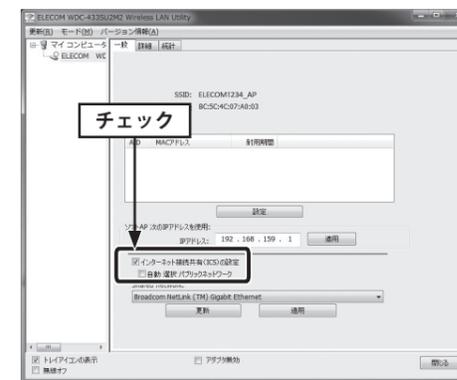
暗号化方式はデフォルトは無効となっております。セキュリティを確保するため暗号化を有効にすることをおすすめします。



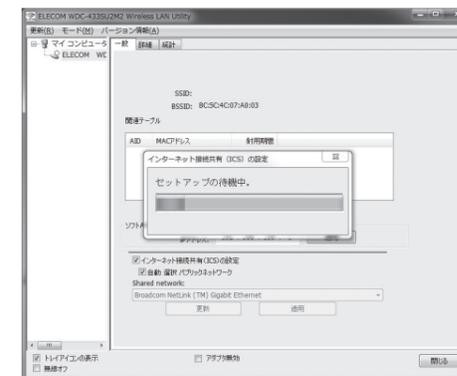
設定が終われば、[OK]をクリックします。

5 インターネット接続共有 (ICS) の設定をします。

「インターネット接続共有 (ICS) の設定」にチェックを入れます。



「自動 選択 パブリックネットワーク」をチェックすると、共有するネットワークを自動的に選択します。



「SelectCard ICS is already bound by another network device」のエラーが表示された場合「ICS機能を無効にする」をお読みください。

「閉じる」をクリックします。

6 ゲーム機やスマートフォンの無線LAN子機側の設定を行います。無線LAN子機側の設定画面で本製品のSSIDを検索し、設定したネットワークキーを入力して接続してください。無線LAN子機側の設定は、無線LAN子機側に付属の説明書をお読みください。

ICS機能を無効にする

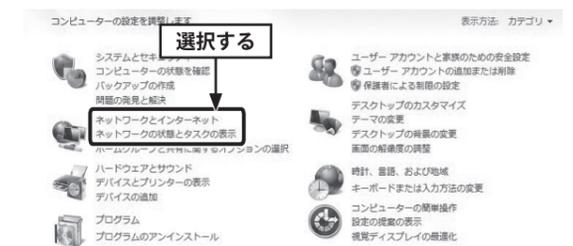
「SelectCard ICS is already bound by another network device」のエラーが表示され、すでに別のICS機能が有効になっている場合は、下記の手順により、一度ICSの機能を「無効」にします。

※ご使用のOSによりメニュー名が異なります。

1 「スタート」-「コントロールパネル」を開きます。



2 「ネットワークとインターネット」-「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択します。



3 「アダプターの設定変更」を選択します。



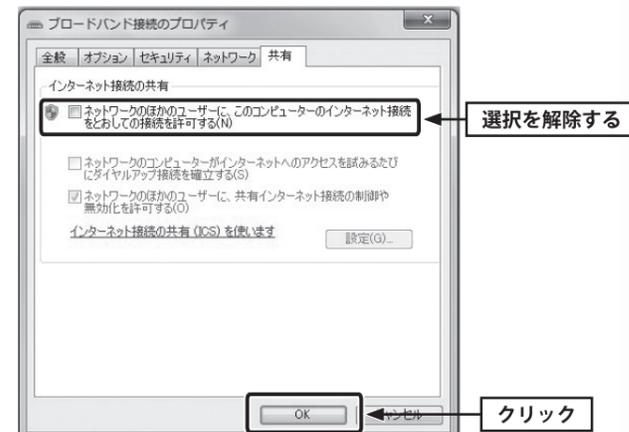
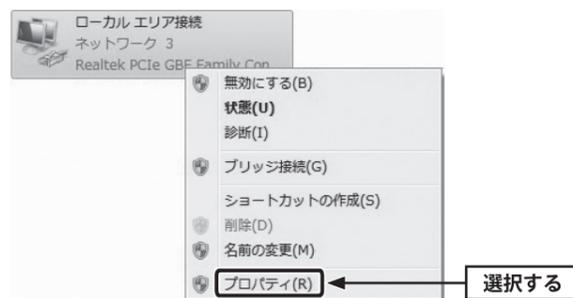
ご使用のパソコンに接続されているネットワーク機器のアイコンが表示されます。



アイコンの表示例

4 「ローカルエリア接続※」のアイコンを右クリックして、「プロパティ」を選択します。「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

※ご使用のパソコンによって「イーサネット」と表示される場合があります。



B 無線LAN機能が内蔵されているパソコンをご使用の場合

ネットワークアイコンの中の、内蔵無線LANを右クリック→無効をクリックして、内蔵無線LANを無効にしておいてください。ユーザーアカウント制御の画面が出てきた場合は、「続行」をクリックしてください。

※内蔵無線LAN機能が動作していると、アダプターを認識しない／誤認識する可能性があります。



タスクバーからユーティリティを起動し、インターネット接続共有 (ICS) の設定を再実行します。

6 無線LAN子機の接続テストで正常に接続できたら作業は完了です。



WDC-433SU2M2BK、WDC-433SU2M2WH セットアップガイド 8 APモード編
2016年11月4日 第3版 エレコム株式会社 ©2016 ELECOM CO., LTD. All rights reserved.

STEP 2 ソフトウェアAPモードのセキュリティ設定

本製品をソフトウェアAPモードで使用する場合のセキュリティ機能を設定します。認証方式はOPEN、共有、WPA-PSK、WPA2-PSKの4タイプ、暗号化方式はWEP、TKIP、AESの3タイプが選択できます。OPENおよび共有時はWEP、WPA-PSKおよびWPA2-PSK時は、TKIPまたはAESが選択できます。なお、ソフトウェアAPモードとクライアントモードのセキュリティ設定値は連動していません。

設定した内容をメモしましょう。

ネットワーク認証	
データ暗号	
ネットワークキー or パスフレーズ	

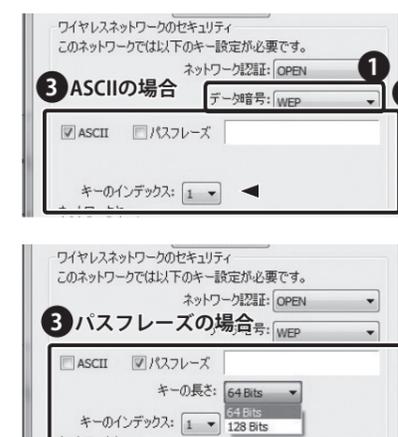
1 STEP1の①～③を参照し[ワイヤレスネットワークのプロパティ]画面を開きます。

●設定値メモ

認証方式	OPEN、共有、WPA-PSK、WPA2-PSK
暗号化	無効、WEP、TKIP、AES
WEPの場合	ASCII、または、パスフレーズを選択します。 ASCII：半角英数字を入力します。5文字(64bit)、または、13文字(128bit)でキーを入力します。 パスフレーズ：10文字(64bit)または26文字(128bit)の16進法で入力します。
WPA-PSK/ WPA2-PSKの場合	TKIP、または、AES(TKIPより高度な暗号化です。)を有効にします。 ネットワークキー：最低8文字が必要です。

※暗号キーは、パスワード、パスフレーズ、ネットワークキーなど、無線LAN親機のメーカーによって、呼び名が異なります。

2 A WEPのみ対応の機器を接続する場合の設定例 WEPの設定をします。



[▼]をクリックするとリストが表示されます。

- 「ネットワーク認証」を OPEN に設定します。
- 「データ暗号」を [WEP] に設定します。
- 文字形式を選択し、暗号キーを入力します。
ここで設定したネットワークキーは、Wi-Fi 接続をする際に必要です。忘れないようにメモをすることをおすすめします。
ASCII：半角英数字を使用し、5文字(64bit)、または、13文字(128bit)でキーを入力します。
キーのインデックスを選択します。
パスフレーズ：10文字(64bit)または26文字(128bit)の16進法でキーを入力します。

3 設定内容を確認し、OK をクリックします。



4 これで設定は完了です。

2 B スマートフォンなどを接続する場合の設定例 WPAタイプの設定をします。



[▼]をクリックするとリストが表示されます。

- 「ネットワーク認証」を WPA2-PSK に設定します。
- 「データ暗号」を AES に設定します。
- 「ネットワークキー」を設定します。
※8文字以上の英数字を設定してください。
ここで設定したネットワークキーは、Wi-Fi 接続をする際に必要です。忘れないようにメモをすることをおすすめします。